



偶 感

S
K
生

現今社會から眠れる宗教家墮落した僧侶と高唱せられしことは長い間の問題である。

斯くの如き謬想を一般民衆に植え付た原因は吾々宗教家に基因するものといつても過言ではあるまい。今日の宗教家を此の儘に繼續したならば大自然の力のある如くにいつしか社會から墮落した宗教家として葬られることは理の當然である。昨年震災以來種々なる悪思想の洪水が氾濫し今やヒマラヤ山上を潤さんとする今日宗教家の最も奮起すべき時正に目前に迫れり。醒よ、眠れる宗教家、汝等は人間といふ貴い靈を救ふべき大切な使命を與へられてゐることを知らざるか。而るに現代の宗教家を見るにこうした人間の靈を救ふべきかの問題よりも如何にせば財政を豊かにすべきかの問題に没頭して富豪の信徒の機嫌取ることを専らにしてゐるのを見て疑惑を起さずにはおられない。如斯事實が際限なく繼續するにせば正に是れ宗教家の墮落によつて宗教の生命を自滅さると云はねばなるまい。

現に自覺した民衆が墮落した宗教家と非難するのは之れに基因するのである。

こんな状態でどうして社會の人々を救ふことが出来ようか、社會を救ふよりも先宗教家達の其の踏み入れた迷路から引き返してくるのが最大急務である。こうした腐敗と墮落とに充ちた現代の社會を天國淨土に改造せしむべき宗教家を吾人は要求するのである。

靈界の偉人日蓮上人程改造を叫んだ人はおそろく此の宇宙間に二人とあるまい。亂れに亂れた彼の鎌倉の街頭に立ち時の天下を救濟せんと大抱負のもとに四箇格言を絶叫せられ向ふところ敵なしの勢で奮闘せられた。

今や復興途上にある帝都と共に宗教家が復興と相俟つて愈々現代の墮落した宗教界を改造すべき時である奮起せよ、本化門下の青年宗教家よ一天四海皆歸妙法の理想に生きる吾等第二の日蓮たるべきを自覺せよ、所謂上人訓誡叱咤された「佛法ヲ學シ謗法ノ者ヲセメズシテ徒ラニ遊戯雜談ノミシテ明シ暮サンハ法師ノ皮ヲ着ケタ畜生ナリ」との徒になる勿れ。二陣三陣續けよの御聖訓を奉載して世界の柱世界の眼目世界の大船と自覺し奮起する宗教家の現れんことを吾人は要求するのである。



「涙」

深 敬 道 人

「涙」!!

それは善か悪かは知らないが、それが感情の發露であり表現である事を私達は認識せずにはいられない。何時か私は或る婦人雜誌で「涙は婦人の武器なり而して如何に此の涙によつて男子をして墮落の巷に迷はしむる事よ」こう云つた意味の記事があつた様に記憶する。

小供と婦人とは涙に於て否涙跪いといふ事實に於て程度迄の共有點を持つてゐる様に私は考へる。而し小供は單純な感情に支配されての涙であるが婦人の涙の或る一面が男子をして墮落の巷に立たせるの涙であるとはげに恐るべき事である。總てをこうした感情の表現たる涙を以て事を處理して行かうと云ふ事は誤つてゐる。そして總てが涙を以て解決されるならば此の世は涙を以て満たされるであらう。而しよく考へると此の涙がその善惡に係らずその問題を容易に左右する事が出来る偉大な力を持つ事實を、私は或る程度迄これを認識し肯定したが、その問題その事件をして前途幸ある解決を興ふるや否やは問題である。

私は一途に涙を以て事を處そうとする考を否むと共に涙が單なる純潔な感情の發露としてでない涙! そう